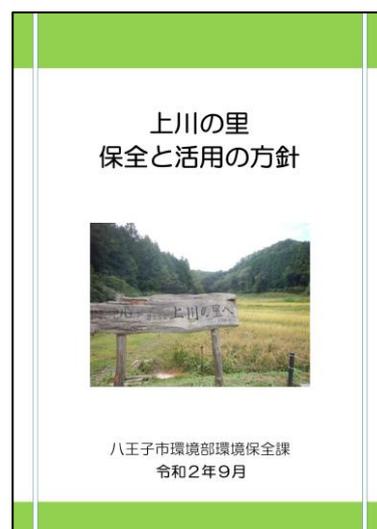


第2章 特集 上川の里特別緑地保全地区の保全と活用の取組

令和2年3月に改定した八王子市みどりの基本計画では、「多様な機能を備えた里山の保全と活用」を施策方針に位置づけ、「上川の里特別緑地保全地区の維持と活用」をリーディングプロジェクトとして定めています。

また、同年に「上川の里保全と活用の方針」を改定し、上川の里に残る貴重な自然環境を次世代に残すため、地域住民・小学校・事業者などの様々な主体との協働により里山の保全と活用を推進しています。

これらの基本計画や方針に基づき、上川の里の価値向上と活性化をめざし、昔ながらの里山の姿を維持・復元するだけでなく、子どもたちが里山にふれて学べる環境教育・環境学習の場、事業者によるCSR・CSV活動の場としての活用など現代のニーズや社会情勢に合った保全を進めています。



地域住民との取組

地元住民により組織されるNPO法人街づくり上川は、シイタケ菌打ち講座などの地域イベントや、上川の里で活動する各主体のサポートを行っています。また、市との協働により、草刈りや散策路の巡回、トイレの清掃などを行っています。



環境学習の支援



稲作体験

小学校との取組

近隣の上川口小学校では、食育や環境教育、地域に根差した教育の一環として、NPO法人街づくり上川と連携し、上川の里内の復元された田んぼを利用して稲作体験を行っています。そのほかにも、ウォークラリーなどの自然とふれ合う活動の場として活用しています。

事業者との取組

上川の里では、様々な事業者が保全活動を行っています。中でも、本田技研工業株式会社とNPO法人森のライフスタイル研究所は、市と協定を締結し、上川の里を主要な拠点として、森林整備や稲作、畑作といった様々な活動を実施しています。



本田技研工業株式会社によるCSR活動